

# 『 ぜんごさいだん 前後際断 』



はら経営株式会社  
代表取締役  
はら よしお  
**原 義夫**  
山口商工会議所 1号議員

1961年小郡生まれ。高校卒業までを山口市内で過ごし東京の大学に進学。大学卒業後、(株)福武書店(現・ベネッセコーポレーション)に入社した。入社後14年が経過した頃、カンパニー本部に異動となり岡山勤務となった。本部には2年間勤務し39歳の時に退職した。起業するならふるさと山口に戻ってからと考え、40歳で中小企業診断士の資格を取得し、山口市で起業した。趣味は読書とショートトリップ。

#### [企業概要]

はら経営(株)

住 所：山口市黄金町 2-19-903

T E L : 083-925-0551

従業員数：1名

#### 原先生のプロフィールを教えてください。

小郡で生まれ育って、現在も実家は小郡にあります。高校は山口高校へ通い、大学進学を機に上京しました。大学では商学部でマーケティングなどを学びました。商学部を選んだのは、実は当時好きだった『俺の空』という漫画で「マーケティング」という学問があるということを知ったのがきっかけです(笑)。

大学卒業後に現在の(株)ベネッセコーポレーションに入社しました。入社後5年間は高等学校向け営業の部署に配属され、6年目からは新たな部門(大学向けの営業)の立ち上げに携わりました。新部署は利益も上がり軌道に乗っていたのですが、業務の内容は学生募集がメインとなって「人」というより「組織」のための仕事になっていたことから、会社が掲げる「Benesse = よく生きる」(ラテン語で bene = 正しい、良い、esse = 生きる、暮らすという意味)というテーマとは違うのではないか…という判断が下され、関連会社に委譲されることになりました。

部署の社員ごと委譲されたのですが、私は本社に残ることになり、首都圏の学校営業の責任者を任されることになりました。私は当時まだ30代、部下が50人以上おり、年上の部下もいます。組織運営の難しさを直に感じ、1年ほどで異動させていただきました。異動先が文教カンパニー本部の役員秘書のような立場で、岡山での勤務になりました。本部側は貸借対照表をにらみながら予算を立て、部署側はクリアできる予算にして欲しいと要求する、その折衝をするのが私の役割でしたので、大変な事も多かったです。カンパニー本部に2年勤務し、39歳の時に退職しました。以前から「いつかは独立したい」という希望は持っていましたし、起業するならふるさとで!と聞いていましたので、起業を目指して、山口市に戻りました。

#### なぜ中小企業診断士になろうと考えられたのでしょうか。

会社を辞めて山口市に戻っては来ましたが、その段階では何をするか全く決めていませんでした。

就職してから営業を長く担当しており、社員教育にもとても手厚い会社でしたので、色々な場所で学んだ事を活かせる仕事はないかと考えたときに、地域のお役に立てるようなコンサルティング業などが良いと思いました。しかし、友人・知人はほとんどみんな山口市には残っておらず、多くの方からの信頼を得るには、何か国家資格が必要だ!

平成28年度 マネジメントプラン策定講座

経営者の皆さんの「何とかしたい」を解決!  
経営計画ができる実践型セミナー

なぜ経営計画が必要なのか?  
「経営計画」は、会社を継続発展させるための道具。  
① 社員のモチベーションを高めるためのコミュニケーション、経営者のストレス管理、  
経営者の健康診断、② 社内コミュニケーションの改善、③ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
④ 経営者のスキルアップ、⑤ 経営者のキャリアアップ、⑥ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
⑦ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、⑧ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
⑨ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、⑩ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
⑪ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、⑫ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
⑬ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、⑭ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
⑮ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、⑯ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
⑰ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、⑱ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
⑲ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、⑳ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
㉑ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、㉒ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
㉓ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、㉔ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
㉕ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、㉖ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
㉗ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、㉘ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
㉙ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、㉚ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
㉛ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、㉜ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
㉝ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、㉞ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
㉟ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、㊱ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
㊲ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、㊳ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
㊴ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、㊵ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
㊶ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、㊷ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
㊸ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、㊹ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
㊺ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、㊻ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
㊼ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、㊽ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、  
㊾ 経営者のメンタルヘルスマネジメント、㊿ 経営者のメンタルヘルスマネジメント

受講生募集

実現の糸は経営計画書にあります

PARI1 経営革新セミナー (経営者向け) 9月13日(金) 9月14日(土) 資料

PARI2 経営革新塾 (経営者向け) 10月4日(水) 11月25日(土) 参加費: 50,000円(税込) ※送料別

主催: 山口商工会議所、協賛: 経営者会、後援: 国土交通省、経済産業省、山口県、山口商工会議所、山口県商工会連合会

平成28年度の経営革新塾のチラシ

考え、中小企業診断士という資格にたどり着きました。

（株）ベネッセコーポレーションにいる頃、創業者の福武氏が「私は会計の事が全くわからなかったから、50歳近くになって若い人に交じって簿記の学校に通った」と話していました。やはり経営者の言葉というのは重い、会計は会社経営の基本だと考えて、まずは簿記などの会計の勉強から始めました。必死で勉強し、平成14年、40歳の時に中小企業診断士資格を取得することができました。

### 中小企業診断士として、どのような業務をしておられるのでしょうか。

中小企業診断士になったからと言って、すぐに仕事があるわけではありませんので、最初の1年間は本当に大変でした。平成15年の2月、中小企業再生支援協議会という地域の中小企業再生のサポートなどを担う組織が発足し、サブマネージャーとして活動することになりました。事業再生に関する知識と経験を有する専門家が常駐し、中小企業者からの相談を受け付け、困難な課題の解決に向けた助言や支援施策・支援機関の紹介などが主な業務です。当時はメガバンクを中心とした不良債権処理が行われる時期で、中小企業にとっては特に厳しい時代だったと思います。まだまだ診断士になったばかりでしたが、最悪の事態を回避するために出来る限りのサポートをしたいと必死で業務に取り組みました。期間は5年間でしたが、その間に20社以上の中小企業の再生に携わらせていただきました。任期終了後も中小企業再生支援協議会での仕事を継続することはできたのですが、「これからは中小企業の成長を支援する仕事をしたい!」と考え、平成20年に協議会の業務からは退かせて頂きました。

平成19年から山口県中小企業診断協会の副会長に就任し、平成23年からは会長に就任、現在も会長を務めさせていただいております。中小企業診断士は、山口県内に約50名います。山口の中小企業の元気を応援するため、これからも頑張っていきたいと思います。

中小企業診断士は企業の成長に向けた経営戦略や経営革新、経営改善にむけたストーリーづくりが主な業務ですが、経営者の相談に乗ることも大切な仕事です。経営者は、苦しいときや困ったときに誰にも相談しない場合も多いと思います。独りで苦しまずに、

まずは誰かに話してみることも大切です。そんなときに、少しでも力になりたいと考えています。

### スローガンの「前後際断」とはどういう意味でしょうか?

禅の言葉で、「過去のこと将来のことをくよくよ考えず、現在を精一杯生きる。一日一日悔いが残らないよう、目の前のことに全力を尽くす」という意味があります。資格を取るために勉強している頃、とにかく毎日「目の前の事を精一杯やろう」と必死に取り組んでいました。

自分の目の前にあることは、後回しにせずとにかく出来る限りの力で取り組もう、という覚悟のようなものですが、あまり後先考えない、自分の性格を良く表している言葉でもあると思っています（笑）。

中小企業診断士としての仕事では「勝者は先ず勝ちてしかる後に戦うことを求め、敗者は先ず戦いてしかる後に勝ちを求める」という孫子の兵法をテーマにしています。しっかりと現状を分析しながら計画をたてて勝負を挑むのが大切です。

### 山口商工会議所が実施する「経営革新塾」の講師として10年近く活躍いただいていますね。

私が初めて講師として呼んでいただいたのが2005年頃だったでしょうか。現在は毎年9月～10月頃に開催しています。受講者は新商品や新技術等の新たな事業展開、新市場開拓を目指す方などで、経営者やその後継者の方が多い講座です。貸借対照表などを見て自社の現状を把握しながら、今後の経営戦略や組織マネジメントなどの知識を習得していただきます。新たな知識を得る場として、自社の現状を冷静に把握する場としても、良い機会になるのではないかと思います。受講者のみなさんはとてもモチベーションが高く、こちらもいつも刺激をいただいています。

経営革新塾が始まった当初に後継者として受講しておられた方々が、今は経営者として活躍しておられるのを見ると、自分もまだまだ頑張ろうと思います。

### 趣味は「読書」と「ショートトリップ」とのことですが。

以前は海外旅行なども好きだったのですが、今はなかなか旅行に行くことも出来ずに



趣味の「ショートトリップ」での1枚

います。出張が多い仕事ですので、仕事で行った地域で時間を見つけて付近の観光地や名所に寄りますので、「ショートトリップ」です。観光として楽しんでいるのですが、職業柄どうしても目に入るお店を観察してしまいます。また、インターネットで評価の高いお店や、美味しいお店、人気のあるお店などにも極力足を運ぶようにしています。「このお店はなぜ人気があるのだろうか?メニューは?席数は?現在は何人くらいお客様が…?」と、お店に入っても結局は仕事の一環のようになってしまいますが…。

人気店が人気店である理由を分析できなければ、もしも同様の業種の方からのご相談を受けたときに、良いアドバイスをすることができないと思い、とにかく色々なところを観察してしまいます。ショートトリップと言いつつ、結局は仕事に行き着いてしまう、職業病ですね（笑）。

### 山口市について、どのような思いを持っておられますか?

「あと一押し!」というのが率直な印象です。山口の出身で、私自身も山口の魅力は存分に感じています。多くの方が同様におっしゃると思うのですが、暮らしやすく自然も歴史も風情もある本当に良いまちだと思いますが、あと一歩踏み出して、魅力をPRしても良いのではないのでしょうか。多くの方が魅力に気付く、交流人口が増えれば、商工業も活性化します。商工業が元気になることが、まち全体の元気につながると思いますので、もっと多くの人たちに魅力を知ってもらえるように、まずは市民である私たちがPRして行ければ良いのではないかと考えています。

### 今後の目標などを教えてください。

中小企業診断士になって、ちょうど15年が経ちました。今後も企業が成長するためのサポートをすること、みなさまのお役に立てるよう努力したいと考えています。お困りのことなどがございましたら、お気軽にお声掛けください。